

1. 基本情報（令和5年4月30日現在）

人口	69,285人	保護率	2.39%
----	---------	-----	-------

2. 支援状況（令和3年度）

新規相談受付件数（人口10万人当たり）	1.2/月				
プラン作成件数（人口10万人当たり）	0.1/月				
就労支援対象者数（人口10万人当たり）	0.9/月				
就労・増収率（%）	72.7				
任意事業等の実施状況（令和5年度（予定））					
支援会議	就労準備	家計改善	シェルター	地域居住	子ども
○	×	×	○	×	×

3. 会議の概要等（令和4年度）

構成員	主任相談員・就労支援員・相談員
会議の内容	<ul style="list-style-type: none">本人の同意が得られない事例について支援者間での情報共有を行い連携を図るために開催。（取り上げる事例の例）<ul style="list-style-type: none">○同意が得られない事例。複数の関係機関が関わっている/今後関わる可能性が高い事例。
開催方法等	月1回程度、1時間程度、市役所相談室
その他特記事項	

4. 会議設置までのプロセス

設置前

○複合的な相談案件の増加に伴い、単課だけでは対応しきれない課題を抱えることとなり、関係課および関係機関での横串の連携により、チーム支援で対応することの必要性が生じたため、関係者間で参集し協議する場として設置に至った。

1年前

保健福祉部職員を対象とした職員研修を実施し、事業実施における制度説明と多機関、多職種連携の必要性についての理解を深めるため、先進市から講師を招致し、職員への意識改革に努めた。支援会議を設置し、随時関係者参集のもと、迅速かつ的確な支援対応が図れるよう、体制構築することについての理解と周知に努めた。

設置に向けて

保健福祉部内での事業開始に向けた準備

保健福祉部内において、各課からコアメンバーを選任し、「プロジェクトチーム」を結成。複合的な課題を抱えた困難事例に対し、支援会議を実施し、関係課で具体的な支援方法について協議し、チームでの対応を基本とした隙間のない支援について協議を重ねた。

くらしの相談窓口の設置

複合的な課題を抱える世帯等のワンストップ相談窓口として、「くらしの相談窓口」を設置。支援会議を活用しながら属性や分野を問わないあらゆる相談に対して、「決して断らない相談」をモットーに関係課との連携対応を必須とした支援強化に努めている。

平成30年4月 事業開始

会議開催

○開催実績：11回（令和4年度）
○支援会議を実施することで、関係課との情報共有や連絡調整を綿密に取ることができ、現状の把握、支援内容の見直しなど、適切な支援を継続して提供することができる。